

川崎医療福祉大学の IR データを用いた入学者選抜の妥当性の検証 および教育課程の適切性の検証（抜粋版）

川崎医療福祉大学 調査企画室IR担当 谷川智宏

1	●●●●●●			
2	●●●●●●	a	156,000	31,200
	●●●●●●	b	143,500	28,700
	●●●●●●	c	165,320	33,064
	●●●●●●	d	150,500	30,100
	●●●●●●	e	132,300	26,460
	●●●●●●	f	165,300	33,060
	●●●●●●	g		
	●●●●●●	h		
				31%
				21%
				35%
				A
				B

検証に用いたデータ

入試データ

- 高校コード
- 高校名
- 科
- 科名
- 科（その他）
- 課程
- 卒業年月
- 評定平均値
- 受験番号
- 入試種別
- 入試種別名
- 入試特待区分
- 入試特待名
- テスト得点

教務データ

- 所属1コード
- 所属1名
- 所属2コード
- 所属2名
- 所属3コード
- 所属3名
- 所属名
- 所属名略称
- 課程名
- 入学年度
- 性別コード
- 性別
- 生年月日
- 学生区分
- 学生区分名
- 現況修学区分
- 現況修学区分名
- GPA
- 入学日
- 入学区分
- 入学区分名
- 入学学年
- 出身県コード
- 出身県名
- 卒業予定日
- 卒業見込区分
- 離学年度
- 離学日
- 卒業確定区分

就職データ

- 最終進路
- 状態
- 業種分類
- 内定進学先
- 郵便番号
- 県
- 住所
- 産業分類名
- 業種
- 職種

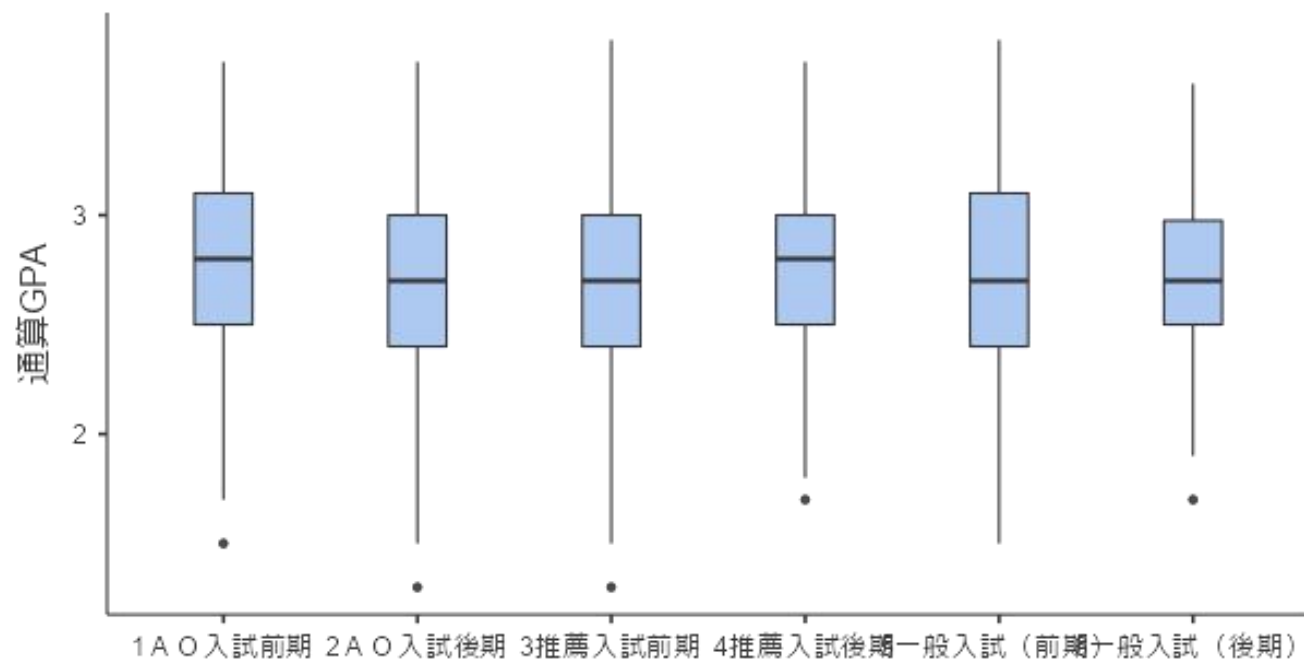
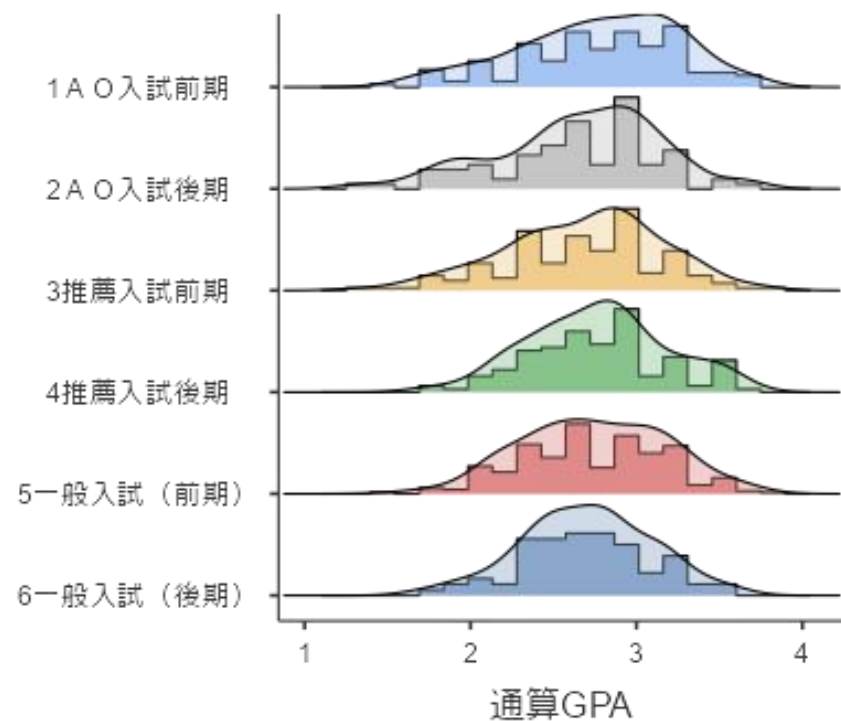
入試者選抜の妥当性

- 入試区分ごとの集計
- 入試区分ごとの通算GPAの平均の差の検定

教育課程の適切性

- 入試区分ごとの各学年各学期ごとのGPAの分布

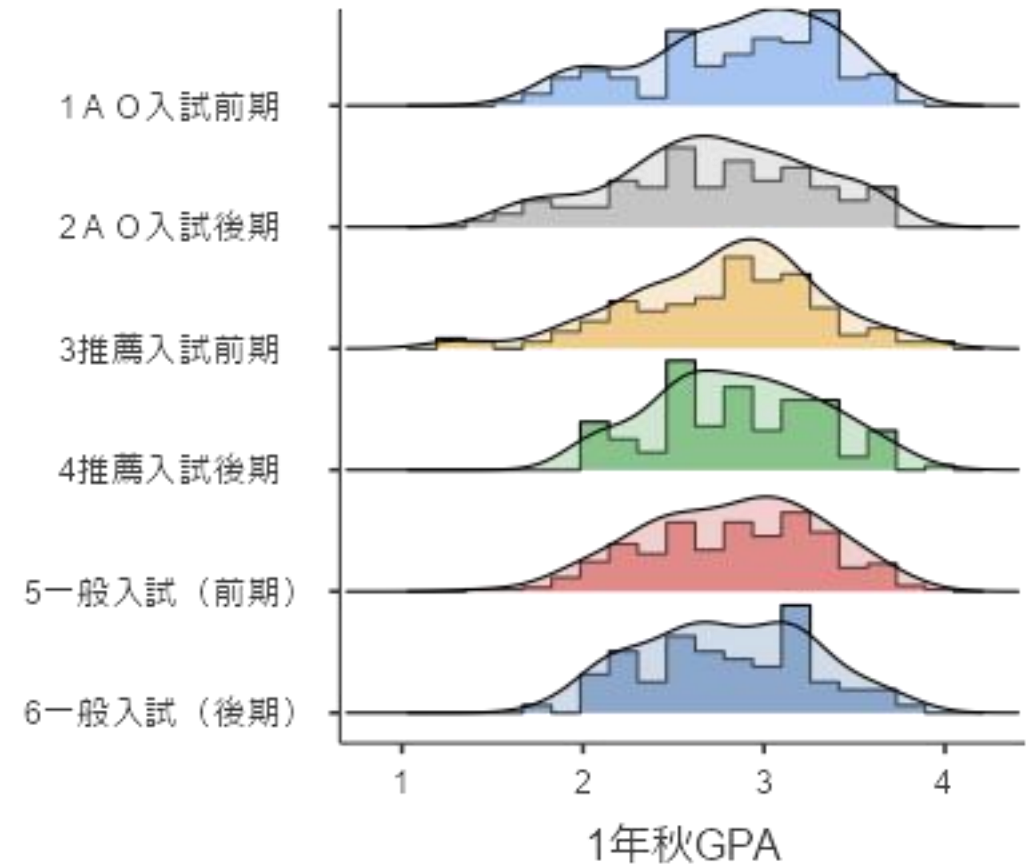
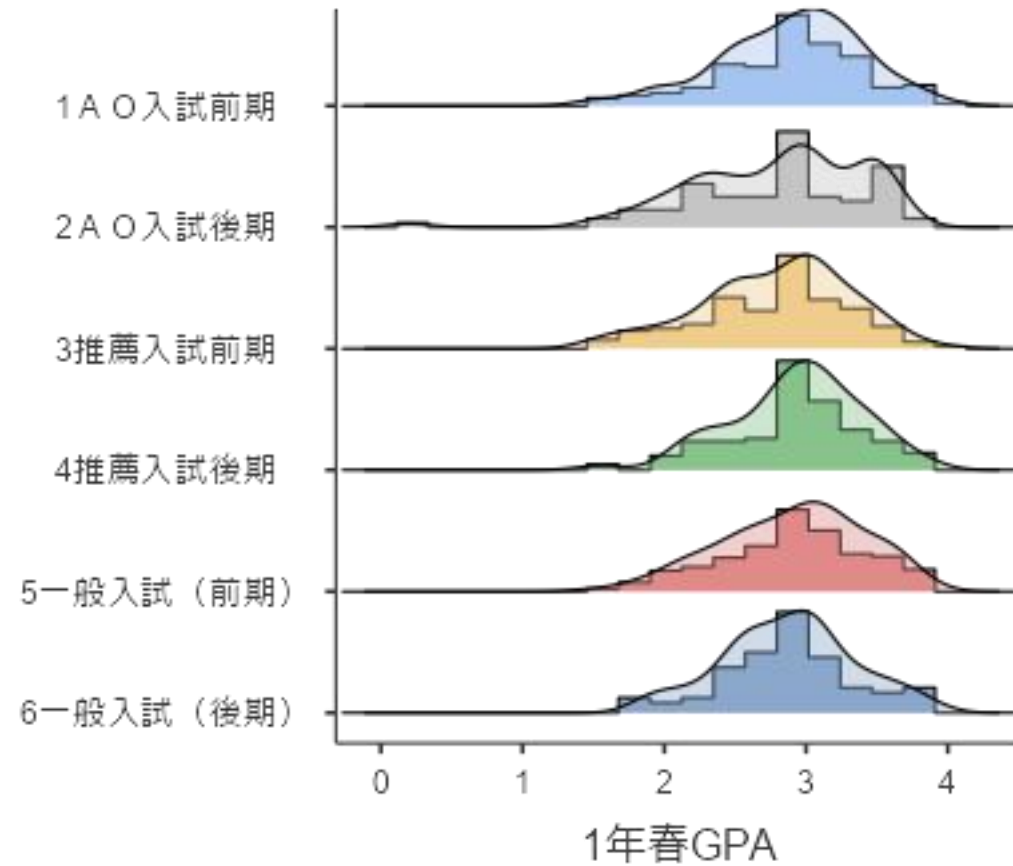
入学者選抜の妥当性の検証



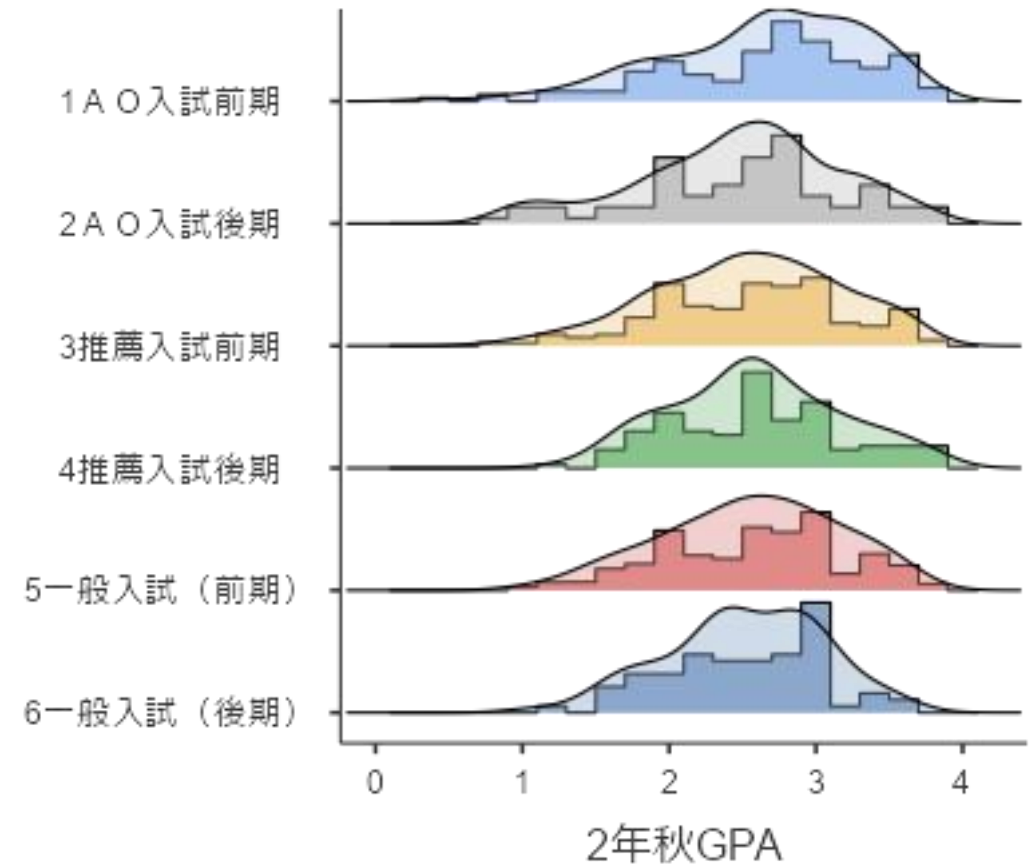
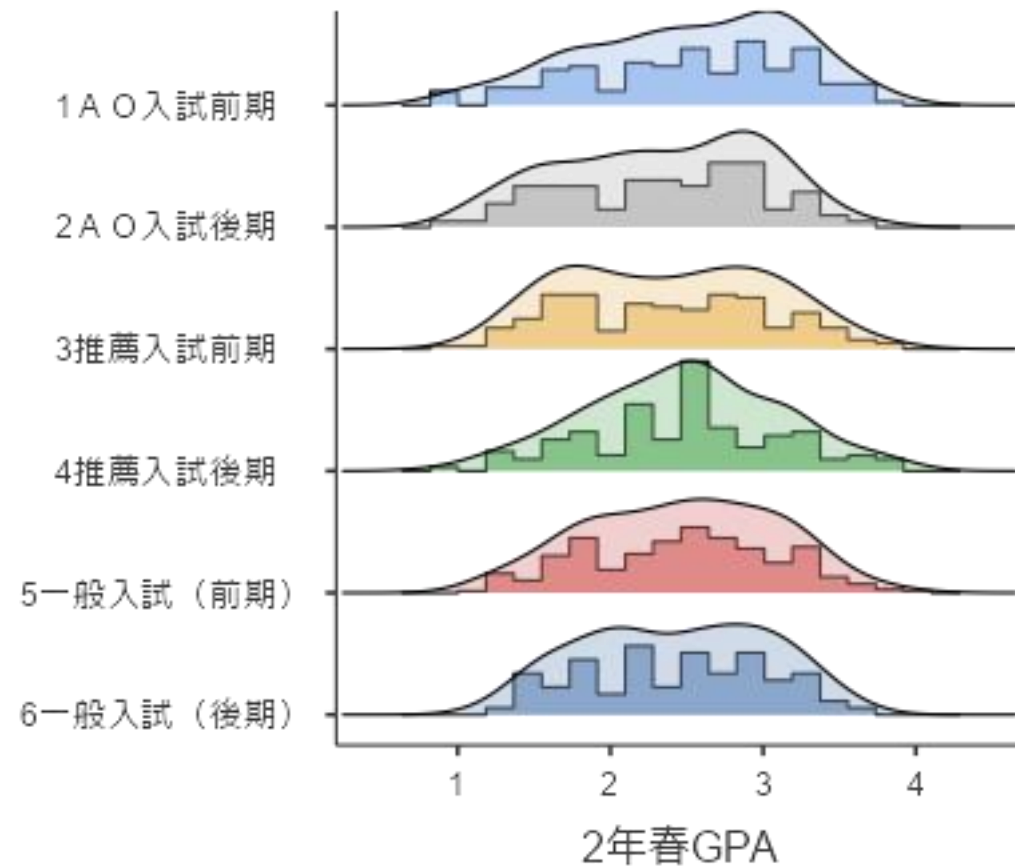
入学者選抜の妥当性の検証

- 通算GPAの平均値は、AO入試前期、推薦入試後期が最も高い
- 通算GPAの全体平均値を下回ったのは、AO入試後期、推薦入試前期の2区分
- 通算GPAの差について検定を行った結果、差はなかった
- 入試区分ごとの学力には大きな差はなく、入試区分としての大きな問題は見当たらない

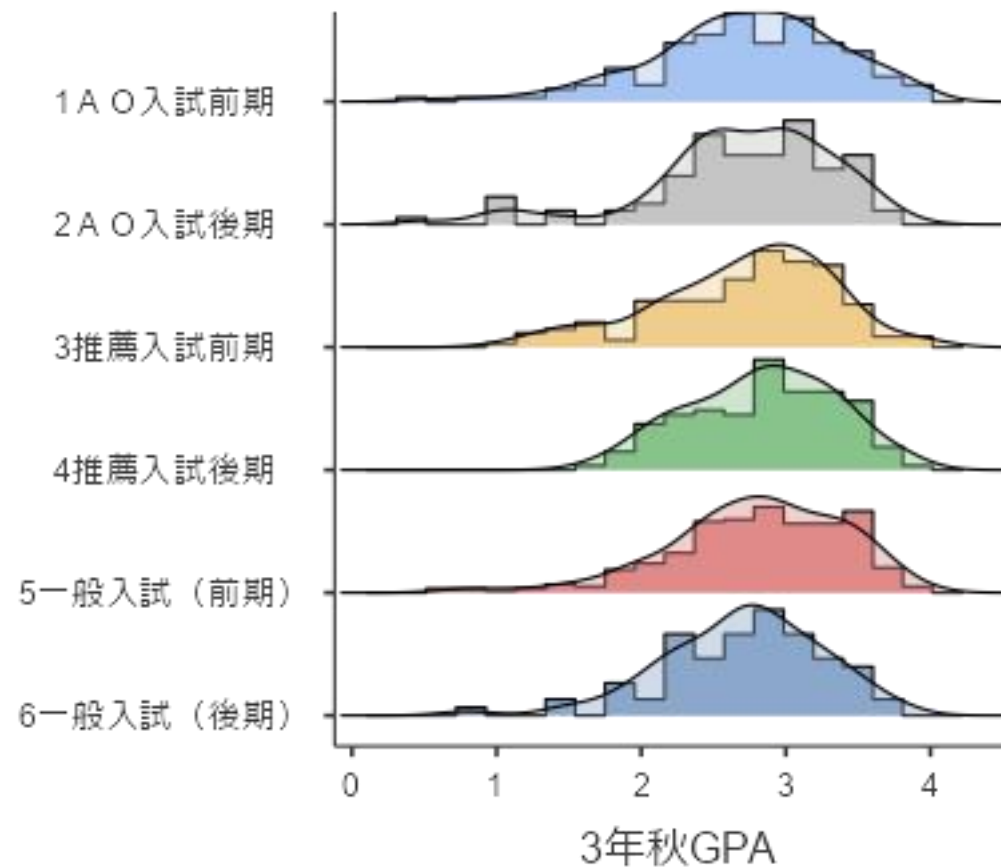
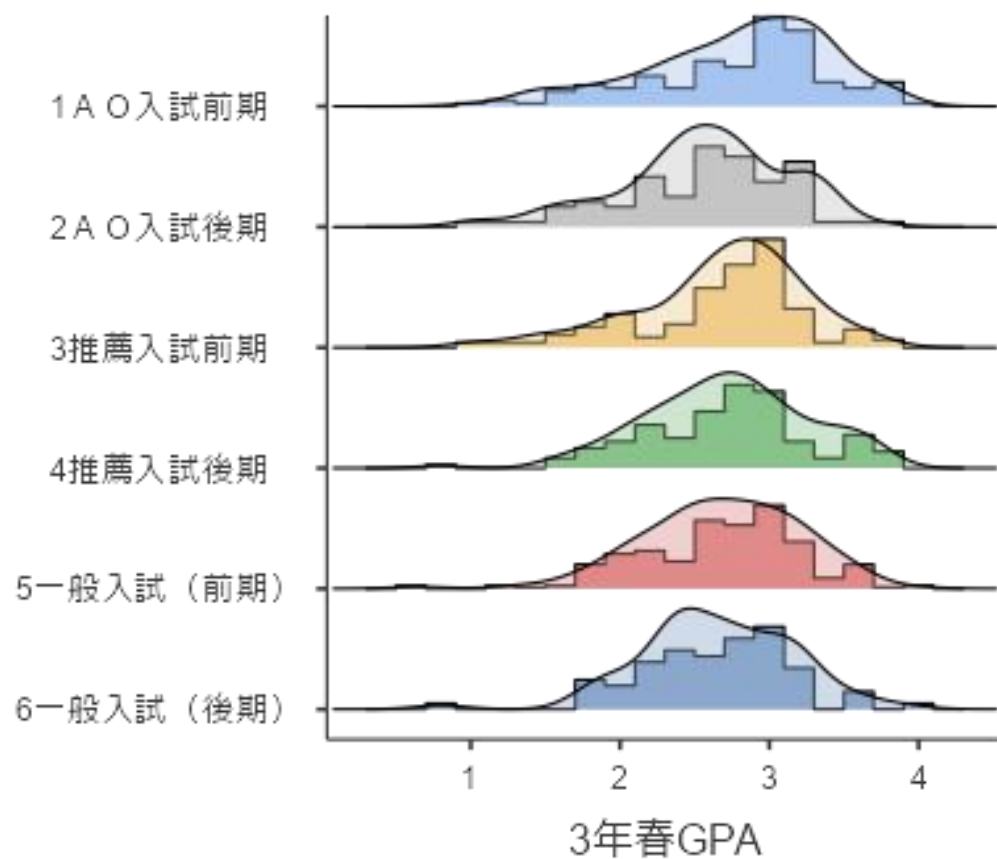
教育課程の適切性の検証（1年生）



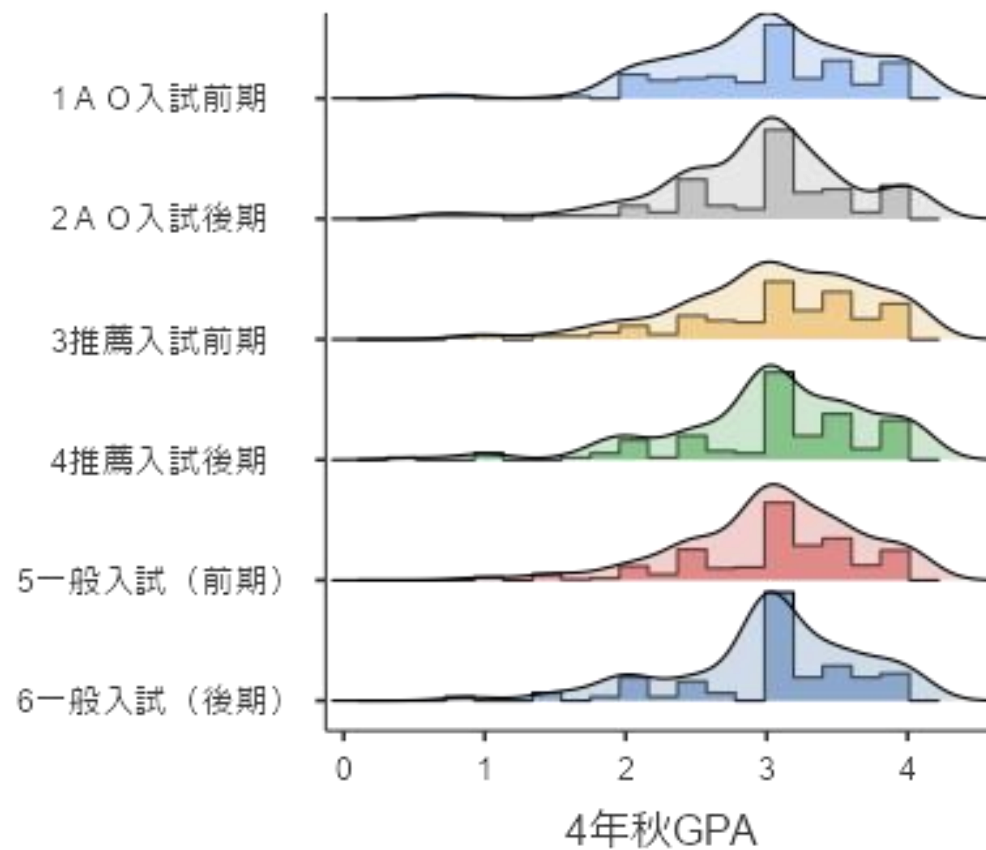
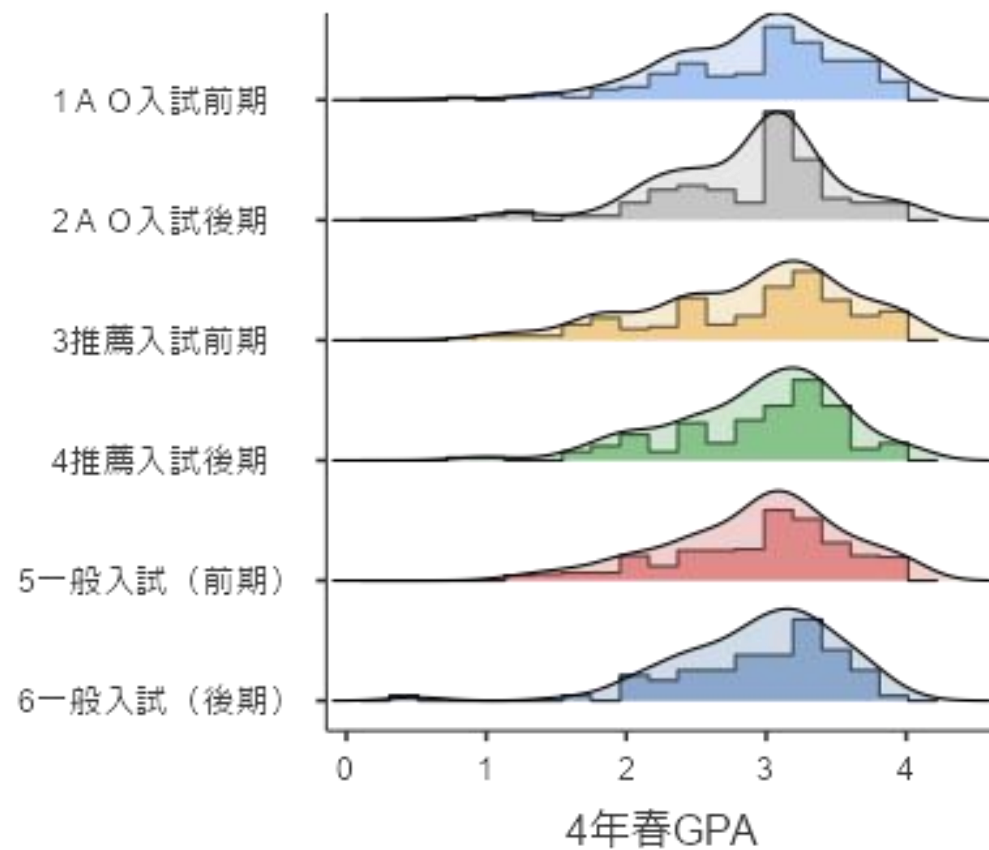
教育課程の適切性の検証（2年生）



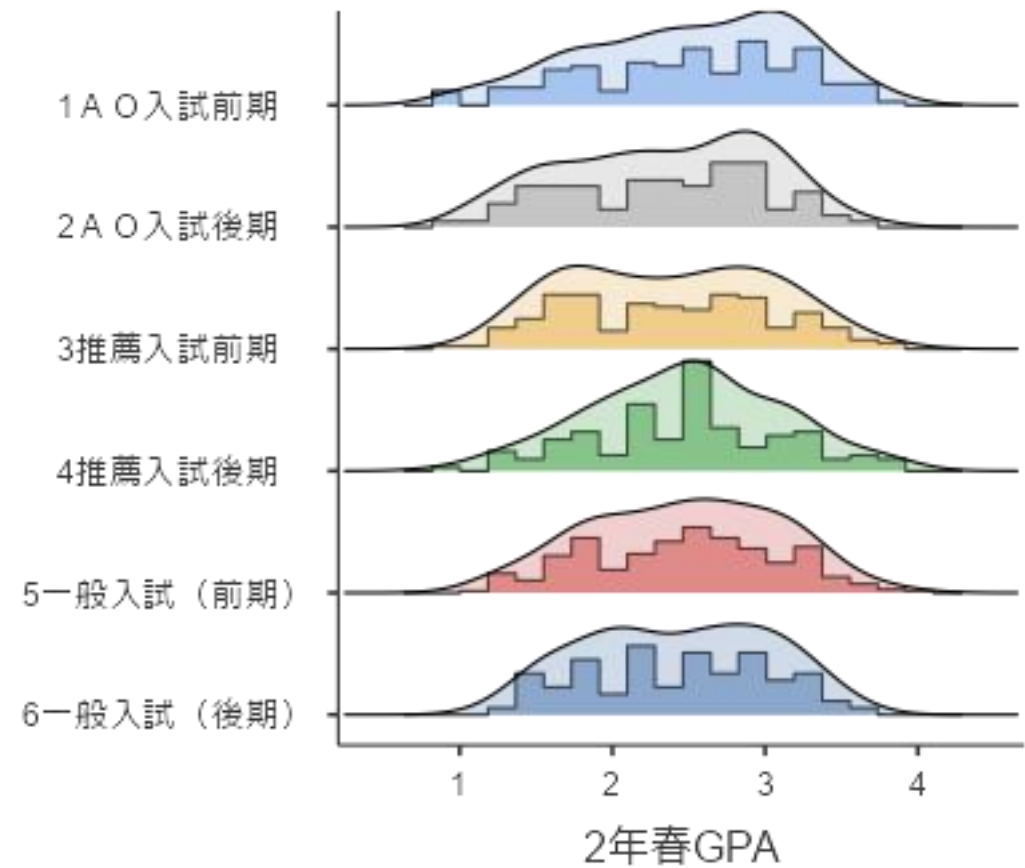
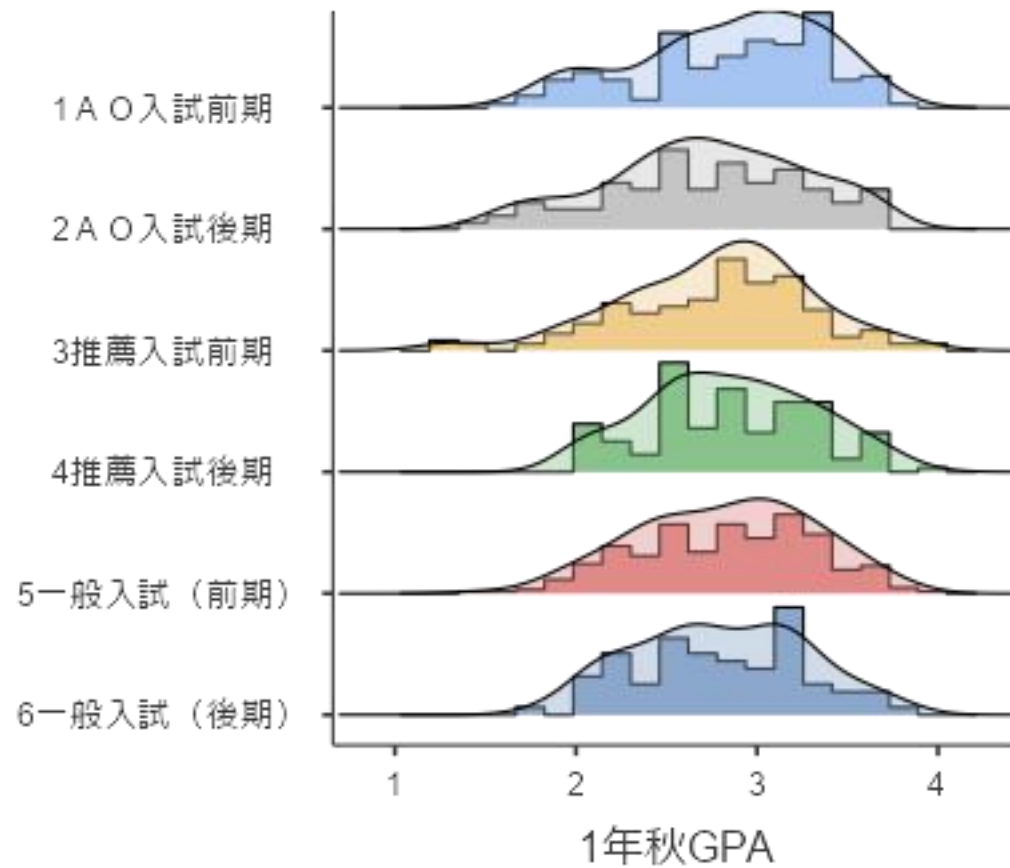
教育課程の適切性の検証（3年生）



教育課程の適切性の検証（4年生）



教育課程の適切性の検証（再掲）



- 全体的に見て、GPAに平均値に差はない。
- ただし、1年次秋、2年次春のGPAの分布は、低いほうに広がっている。なかでも専願試験が顕著である。(前ページ参照)
- 2年次秋以降はその分布が解消する傾向にあり、3年次春以降は同様の分布を表している。

- 入試区分における教育課程の顕著な差はみられない。
- 1年次秋、2年時春の分布については今後も引き続き調査が必要

- 通算GPA、学年学期別GPAを用いて、入学者選抜の妥当性や教育課程の適切性を検証
- GPAの視点では、いずれにおいても問題ない
- 医福大の特徴として、学生数も多く、学部・学科が多岐にわたるため、それらを踏まえた分析も必要
- 修学区分での休学、退学の要素を含めた分析も必要